

# 委員会活動計画

## 【クラブ管理運営委員会】

- ◆ 担当内容  
出席向上、親睦、例会プログラム
- ◆ 基本方針  
「四つのテスト」「中核的価値観」「行動規範」を指導する。
- ◆ 活動計画
  1. クラブ活性化のための施策を検討・実践する。
  2. 親睦を推進するための例会企画を行う。
  3. 出席向上のために、会員が何を求めているかを工夫した、例会プログラムの企画。

## 【会員増強維持委員会】

- ◆ 担当内容  
会員増強、退会防止
- ◆ 基本方針  
会員減少に歯止めをかけると共に、会員増強によってクラブの活性化へつなげる。  
クラブの繁栄と充実を目標に、明るく楽しいクラブづくりを目指します。
- ◆ 活動計画
  1. 例会毎に会員増強に対する意識を高める喚起活動を行う。
  2. R I 会長の提言の下、会員ひとりが1名の増強を行うことを目標とする。
  3. 会員同士の理解と親睦を深め、退会防止を計る。

## 【公共イメージ委員会】

- ◆ 担当内容  
公共イメージ向上、会報発行、広報活動
- ◆ 基本方針  
ロータリーを理解してもらえるようにソーシャルメディアを活用してピーアールを行う。  
地域社会奉仕活動、国際奉仕活動をPRし、もっとクラブ活動を知ってもらえる努力をする。
- ◆ 活動計画
  1. 消防車寄贈事業の国際奉仕活動を一般市民に知ってもらう広報活動を行う。
  2. 地域社会奉仕活動を広報し、イメージ向上に努力をする。
  3. ホームページ、ブログ、フェースブック等での広報活動の推進。
  4. ガバナー月信、ロータリーの友への投稿を行う。
  5. ロータリーの友の解説及び理解する例会を月1回は行う。

## 【奉仕プロジェクト委員会】

- ◆ 担当内容  
社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕
- ◆ 基本方針  
地域に根付いた奉仕活動を行いながら、今後の継続事業のあり方を検討する。
- ◆ 活動計画  
3奉仕担当と連携し、継続事業参加団体と協議し、今後の運営の活性化を計る。

### 職業奉仕担当

- ◆ 基本方針  
職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識する。
- ◆ 活動計画
  - 1 例会で会員の職業を話し、学び合う。
  - 2 高潔な精神で仕事に取り組み、言動を通じて模範をしめす。
  - 3 職業奉仕の理念を学び、職業の上で実践する。

### 社会奉仕担当

- ◆ 基本方針  
地域に密着した奉仕活動を実施する。
- ◆ 活動計画
  - 1 障がい者へのサポート事業（いきいきフェスタの実施）
  - 2 みんなの食堂「つくしんぼ」の支援
  - 3 地域社会による要望、支援。（子育て家族のへ支援事業を検討する）
  - 4 行政と協働による奉仕活動の推進。

### 国際奉仕担当

- ◆ 基本方針  
世界的ビジョンを広げ、友好、親善を充実させ、国際的な奉仕活動を協力して、実施する。
- ◆ 活動計画
  - 1 友好クラブとの友好、親善を深め、国際奉仕活動を推進する。
  - 2 国際奉仕プロジェクト事業の計画・実行の推進を図る。
  - 3 国際友好事業による、日本文化の正しい理解と伝承として、着物の寄贈と着付け指導を行う。
  - 4 友好クラブに基づき、タイ王国、ラオス人民共和国、モンゴル共和国へ消防車の寄贈事業。
  - 5 国際理解を深めるために、月1回のタイ語講座を開催する。

### 青少年奉仕担当

- ◆ 基本方針  
次世代を担う青少年リーダーを育成することに熱意を持つ。  
また、ロータリーの理解を深めてもらうことと奉仕の心を育てるための行動をする。
- ◆ 活動計画
  - 1 インターアクトクラブ設立に伴いサポートを行う。
  - 2 草加ジュニアオーケストラへの支援。
  - 3 草加ジュニアオーケストラ合唱団への支援。
  - 4 青少年活動と支援のためのプログラムを推進。
  - 5 RYLA、インターアクト等の青少年プログラムを理解し、推進する。

## 【ロータリー財団・米山記念奨学委員会】

- ◆ 担当内容  
ロータリー財団、米山記念奨学
- ◆ 基本方針
  - ・ロータリー財団の目的と、使命を理解して頂き、プロジェクトの意義を再確認して頂けるよう活動します。
  - ・世界の若人に日本国内の大学で学ぶ機会を支援すると共に、日本文化とロータリーに対する理解を深めてもらう努力をする
  - ・クラブメンバーに理解を深め、寄付の増進
- ◆ 活動計画
  - 1 R財団の理解を深めて頂く為に、R財団に関する卓話を行います。
  - 2 R財団寄付目標：1人当たり250ドル
  - 3 10月24日、世界ポリオデー事業の実施、寄付への協力を求める。
  - 4 米山記念奨学の寄付目標：会員1人当たり 25,000円以上
  - 5 米山奨学生、米山学友による卓話の実施

## 【長期戦略委員会】

- ◆ 基本方針  
クラブ運営を円滑に発展をさせるために、CLPを導入して、奉仕活動の充実と推進をさせることで、会員増強に繋がる長期ビジョンの作成を行う。
- ◆ 活動計画
  1. 多くの会員の意見を反映させる機会を多く用意する。
  2. 理事会はロバート議事法により、円滑に、充実した会議するように努める。
  3. ロータリー基礎知識を会員全員が吸収し、ロータリー活動に活用する。
  4. 地区セミナーには多くの会員で参加をし、クラブ活動に反映できるように努める。
  5. 地区から卓話者を招き、有益な例会を持ち、クラブ活動、奉仕活動を活発にする。
  6. 中長期のビジョン作成により、クラブ運営の充実と奉仕活動の発展に導く。
  7. 会員数の長期目標を作成し、年度毎の達成を目指した会員増強活動を行う計画の立案。

## 【クラブ研修リーダー】

- ◆ 基本方針  
ロータリーによる善き活動をより多く実現させ、将来のロータリーのリーダーとなれるロータリアンを増やすためのクラブ内研修を行う。
- ◆ 活動計画
  - 1 研修会は2ヶ月に1度行う
  - 2 研修会により「知識の共有化」を図る
  - 3 地区からの卓話を依頼する
  - 4 RLIに多くの会員に参加を呼びかける

## 【SAA（会場監督）】

- ◆ 基本方針  
規律を高め、明るく、楽しい例会会場の運営にあたる
- ◆ 活動計画
  - 1 例会でロータリーソング、四つのテストの唱和を実施する
  - 2 例会の規律ある進行のための会場監督
  - 3 出席向上のために、会員が何を求めているかを工夫する